

花咲き山

令和2年度
飯豊町立飯豊中学校
第1学年だより
第25号
2020.9.18
文責：小松正義

1年生デビュー 地区新人大会迫る

いよいよ1週間後に地区新人大会が行われます。どの種目も2年生だけで参加することが難しく、多くの種目で1年生もデビューします。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無観客で実施の種目や人数制限を設けての開催になりますが、応援よろしくをお願いします。

子ども達と一緒に、大会に向けて考えたいことをいくつか紹介します。

☆あいさつ（声）

今、生徒会の主催で、部活動毎の「あいさつバトル」を行っています。なぜこの時期に行うのでしょうか。声には力があるからです。爽やかなあいさつは相手に好印象を与えます。大会を運営してくださる方や応援に駆けつけた方々に、中学生らしい爽やかさを伝えることができます。

声は、「①自分自身を奮い立たせるため。」「②自分自身を落ち着かせるため。」「③チームの連携を高めるため。」に効果を発揮するものです。実際、声を出すことで瞬間、パワーアップすることも証明されています。でも、この声は試合の時だけ出そうとしても出せるもの

ではありません。だから「あいさつバトル」でその力をつけようと企画したのだと思います。「あいさつバトル」を、是非練習にも、そして日常生活にも活かしてほしいものです。家庭でも、ハキハキした受け答えなど、張りのある声を出せているか見守ってあげてください。

当日、試合の中でどのチームより声が出ていたら、それだけで自分の持てる力を出せると判断しても良いでしょう。



☆私生活

今朝、3年生から激励のメッセージを頂きました。2年生だけでなく1年生に対しても一人一人から言葉を頂き感激しました。その時、「みんなは試合に出たら勝ちたい？」と問うと「勝ちたい。」という反応でした。

でも、「本当に勝ちたい。」と思っている人は何人いるのでしょうか。自治会の反省にも、「忘れ物が多く、居残りしている人が多かった。」という反省が出されていました。ようするに、部活動が「時間通り始められない。」「全員そろって始められない。」という状況を作っているのです。本当に勝ちたいと思っている人の行為ではありません。

「勉強は嫌いだけど、部活動はがんばりたい。」こう考える人がいてもおかしくはないと思います。でも本当にがんばりたいのであれば、その時間を削られるようなことはしないはずです。

やるべきことをしない、人の見ていないところで手を抜く、そういう中学生が大事な場面でミスをしたり、ここぞという場面で決めきれなかったりするシーンを何度も見てきました。こうした私生活の一つ一つが、大会結果にも大きく関わってくるのです。

こうした視点でお子さんにもアドバイスをお願いします。

3年生ありがとう

☆ 学年集会で ☆

地区新人大会に向けて3年生から激励メッセージを頂きました。今年は、自分たちの大会が中止そして今回は応援に行くこともできない、そんな苦しい状況の中で、心の



こもった言葉を一人一人がしたためた寄せ書きを、2年生、そして1年生にも頂きました。

3年生は部活動にも参加し、1、2年生の相手をしたり、指導したり毎日手伝ってくれています。感謝の気持ちを持って大会を迎えたいものです。